

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2019年10月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2019年10月1日発行 通巻318号

**登山道での転倒は
重大事故になる！**

10月号目次

・ 目 次	2
・ 9月理事会報告	3
・ 夏山特集	
・ ふわくHC（望月利男）	5
・ 君津ケルン山の会	6
・ 松戸山の会（鴨志田）	7
・ 東葛山の会（蓮見久美子）	8
・ ハイキング委員会・リレーエッセー	
・ 岳人あびこ（深草茂美）	9
・ 事故防止経験交流集会案内	10
・ 雪崩を知る事で命を守る	11
・ 雪崩講習会参加報告（岳人あびこ）	12
・ 関東雪崩講習会案内	15
・ 第3回ハイキング委員会報告	17
・ 第13回ワンコイン講習会報告	18
・ 第14回ワンコイン講習会案内	19
・ 県連予定表	20

表 紙 説 明

ふわくハイキンサークルの夏山山行は、参加者全員が登った事のない赤岳に権現岳からの挑戦の報告です。

赤岳に登りたい、そのためには、参加者の体力・技術に合った登り方を全員で確認した。これは同じ会の気心の知れあった会の仲間だから出来る事です。

①途中で一人でも支障が生じた場合は断念・中止もあり②台風直撃であれば変更、そして茅野へ下るバスルートに合わせて③エスケープルートの設定等です。

これらは、ふわくハイキングサークルの歴史・素晴らしさであり、仲間の絆を大事にしている事を感じさせられた。

—— 編集者 ——

千葉県連 9月理事会報告

県連理事 竹口正孝
(千葉こまくさHC)

千葉県連理事会を下記の通りご報告いたします。

1. 日 時 2019年9月19日(木) 19時～20時30分
2. 会 場 船橋市西部公民館
3. 出席会 ちば山の会、君津ケルン山の会、船橋勤労者山の会、松戸山の会、ふわくハイキングサークル、東葛山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、山の会「岳樺クラブ」、かがりび山の会、市川山の会、まつど山翠会、まつど遠足クラブ1年さくら組
役 員 広木会長、鶴田副理事長、古瀬顧問、小林会計、伊東教育遭難対策委員長、桑原ハイキング委員長、菅井自然保護委員長
4. 議題・討議事項
 - 1) 各委員会報告
 - ①教遭委員会
 - ・転倒事故1件報告(本年度累計10件)
 - ・「2019 事故防止・経験交流集会」宿泊施設の富津市民の森も、台風被害を受けたが開催予定との報告。
 - ②ハイキング委員会
 - ・9月10日 定例委員会実施。
 - ・第36回房総ロングハイク(1/25～26)は新コース「七里川コース」で実施決定。
 - ・来年度のウィークデー山行(6/11)は玉原高原 あまが はげやま 尼ヶ禿山で計画中。
 - ③自然保護委員会
 - ・関東ブロック自然保護委員会議(8/31～9/1 群馬県谷川)の報告
 - ・来年度の関東ブロック自然保護委員会議は千葉開催となるので、打合せを兼ねて10月10日に自然保護委員会開催予定。
 - ④組織委員会
 - ・配布された本年度後期活動予定資料を基に「会員構成状況調査」の概要及びスケジュール案の説明。
 - ④女性委員会
 - ・「第13回ワンコイン講習会」は大好評で47名参加で実施(9/7)。
 - ・「第14回ワンコイン講習会」は安村先生で開催(11/17)予定。
 - 2) 県連課題の検討報告、その他
 - ①台風15号の県内災害状況について

- ・ふわくハイキングサークル理事より、倒木だらけの鋸南町の鋸山登山道の復旧活動で、チェーンソーをかついで伐採しながら 100m登るのに 1 時間 50 分程かかったとの生々しい報告をうける。他理事、役員からも房総エリアでの多くの災害状況報告もあり、千葉県登山会として視点を変えた支援を今後も検討討議していくことを確認。
- ・一策として千葉県連労山HPに千葉県登山情報をのせられないか！⇒「房総の山 50」をベースに検討する方向も一案として確認。

②ホームページ部会報告

- ・HP未開設の会への全国連盟の無償提供に「茂原道標山の会」が申請中との報告。

③来年度の県連定時総会について

- ・【日程】2020年3月7日(土)
- ・【場所】千葉県総合スポーツセンター宿泊研修棟大ホール
- ・配布資料は年内とりまとめを目標に、準備資料はスリム化する方向で経費面では外注印刷も今後検討していくことを確認。

④その他報告について

- ・来年度のカレンダーとりまとめは、本年同様に羽鳥理事(東葛山の会)に担当して頂くことを確認。
- ・労山基金担当者会議(10/19)の案内連絡。
- ・全国連盟HPから「全国女性交流集会in和歌山(10/26～27)」案内。
ご参考までに全国連盟HP⇒<http://www.jwaf.jp/>

以 上

◆ 千葉県連盟の取り扱いについて（2020年労山カレンダー）

1、・全国連盟事務局に直接、申込みをお願いします。

- ・東京都新宿区新小川町 5-24
- ・電話 03-3260-6331
- FAX 03-3235-4324

- ・同時に、東葛山の会・羽鳥 健一郎さんにもメール連絡をお願いします。

- ・ hatori0227@jcom.home.ne.jp

2、代金は千葉県連盟をお願いします。

- ① 12月の理事会に持参して下さい。

- ② 振込先 ゆうちょ銀行

10530-71800571 広木 国昭

3、千葉県連は、1部800円をお願いします。

ご理解とご協力をお願いします。

◆ 問い合わせ先 広木 国昭まで

- ・携帯☎ 090-8316-2020
- ・Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp

72歳～76歳・10人で青年小屋権現岳・赤岳・硫黄岳に挑んだ

ふわくハイキングサークル リーダー 望月利男

全員が登った事のない赤岳への権現岳からからの直登。打ち合わせでは、①途中で一人でも支障が生じた場合は断念・中止もあり②台風直撃であれば変更、そして茅野へ下るバスルートに合わせて③エスケープルートの設定など、考えるべき対策を設定し全員で打ち合わせを7月22日に済ませさまざまな期待、不安もザックに詰めて出発を確認。

さらには①権現平駐車場から青年小屋までのコースタイムと実態②青年小屋から権現岳までのコースタイムと実態を体力から見てその都度進むかどうか、断念かを検討しようとしていました。ふわくでは、昭文社の地図記載のコースタイムに+50%で日程を設定することが通常の企画ですから、これに少し30分程度伸ばしたコースタイムで赤岳登頂を想定し③進むか断念するかはその都度皆の意見を掴み、CL/SLとよく相談し即決することを確認。出発時などに徹底しようという姿勢で臨みました。

8月3日 観音平から青年小屋までのコースタイム2:50分(ふわく3:30～4:00分想定) 10:00→14:40分着 アブに刺されそうな中昼食休憩30分 湿度が高く小雨模様で雨具一時装着汗もひどかったがさほど設定タイムから大きく遅れることもなく青年小屋に到着、何人かは、マッサージや夕飯時までの仮眠をとりました。ツエルトの利用方法、ロープワークの現地講習も。

8月4日青年小屋6:30発～8:30権現岳着・9:00発～キレット小屋～14:40分着～14:50分赤岳頂上着 “まずは権現を目指す、体調によってはそこから引き返すこともありうる”と説明。キレット小屋ではペース配分、体調もよし、でCL/SLとで検討し赤岳に向かうことを徹底。9:00ブレスに赤岳登頂を据えました。赤岳取り付き部は、斜面が平板状の小岩のザラザラ斜面を百mほど登り、ストックの収納。岩ばかりで浮石などないような急斜面を梯子、鎖の連続した登りを百m”山側体重、三点確保、足元をよく見る”こと “などを徹底、踊り場のような平らな場所で休息水分補給。たくさんの高山植物にも励まされ快晴、冷涼な空気のなか、トラバースあり急登斜面を落ち着いて登り切りました。360度の眺望は素晴らしく南～北アルプス～乗鞍～などがすべて眺められた！赤岳頂上小屋のオーナーからは『一番難しいコースをよく登ってきましたね。』と。 あす以降のルート変更・CL/SLで”横岳～硫黄岳～赤岳鉱泉に降りる “を提案衆議一致。

8月5日4:50分日の出6:00朝食、7:00出発。横岳～硫黄岳～赤岳鉱泉に降りる、と。(温泉がいい麦草峠まで歩かなくてもいい!) ルートを大幅変更。10:40分横尾岳頂上～硫黄岳小屋で休息・昼食12:00～13:00冷たいアイスクリームなど食べる、コマクサの群生地・保護地を見ながら大きなケルン、爆裂火口を見ながら赤岳鉱泉に降った。15:40分着。夕食は牛肉ステーキ、生ビール、ワインなどで我が身の奮闘をたたえあい、翌朝、美濃戸口から茅野へ下りました。登らなかった八ヶ岳北部、次の機会があればいい！と。

またいつの日か遥かなる山の呼び声に誘われて向かいたい、70歳はゆっくりと。

以上

御嶽山（3067m）：君津ケルン山の会

登頂日：2019（令和元）年8月24日（土）～25日（日）

天候：快晴

御嶽山噴火は、2014（平成26）年9月27日11時52分に発生した。警戒レベル1の段階で噴火したため、火口付近に居合わせた登山者ら58名が死亡し、日本における戦後最悪の火山災害となった。噴火後しばらくの間山頂付近は立入禁止となっていたが、2018年から指定されたルートおよび期間、山頂までの登山が可能となった。

8月24日（土）は御嶽ロープウェイに乗車し、標高2100mの飯森高原駅に着。ここから今日の宿泊先の女人堂（金剛堂）まで1時間30分を歩き14時40分着。

8月25日（日）は快晴。女人堂を6時15分に出発。森林限界を超えると勾配が急になり、7時36分石室小屋に着きここで大休止を取る。石室小屋からしばらく登ると前方に御嶽山の山頂が望めるようになり足取りもやや軽くなる。山頂直下は噴火からの復旧工事が進められており、今日は天気の良いせいか資材を積んだヘリが盛んに往復をしていた。8時40分に標高3067mの山頂に着く。展望は抜群に良く、乗鞍岳や中央アルプスの山並みを望むことが出来た。

風の強い山頂で記念撮影の後、ニノ池に向かう。噴火の前は山頂から眺めるとエメラルドグリーンの水面が望めたが今は火山灰で池の大半が埋まってしまう。ニノ池からは下り一方の道をゆっくりと下山し再び女人堂に。預けた荷物を回収し、最後の大休止の後12時30分発、飯森高原駅に14時頃到着し山行終了。



夏山・山行報告

穂高、槍縦走 報告

松戸山の会 鴨志田

8/2 上高地 5:43ー前穂高岳 11:19ー奥穂高岳 14:08/14:37ー穂高山荘 15:09
8/3 穂高山荘 5:18ー北穂高岳 8:10ー南岳 12:45ー中岳 14:12ー槍岳山荘 15:54
8/4 槍岳山荘 6:00ー槍ヶ岳 7:00ー横山山荘 12:39ー上高地 15:28

クモマグサ、ミヤマツメクサ、シコタンソウを見ながら、穂高、槍ヶ岳を縦走した。楽しい縦走を行った。外国の登山者の多さにただただ驚きです。彼ら、彼女たちの稜線の歩き方、小屋での過ごし方等のマナーに若干の疑問が生じた。



火打岳、妙高、高妻

8/10 笹ヶ峰登山口 6:48ー高谷池ヒュッテ 9:03ー火打山 10:23/11:04ー
黒沢池ヒュッテテント泊 12:49
8/11 黒沢池ヒュッテ 5:41ー妙高山 6:59/7:31ー黒沢池ヒュッテ 9:32ー
笹ヶ峰登山口 11:58
8/12 戸隠キャンプ場登山口 5:02ー一不動避難小屋 6:43ー五地藏山 7:36ー
高妻山 8:54ー五地藏山 10:43ー一不動避難小屋 11:26ー
戸隠キャンプ場登山口 12:46

暑い時期の登山で、高妻山登山道の氷清水の湧き水が喉の乾きを十分に癒やしてくれた。また、この湧き水で入れたコーヒーの味は格別でした。

燕岳～常念岳～蝶ヶ岳縦走 山行報告

東葛山の会 蓮見久美子

日 程 : 8月25日(日)～8月28日(木)

参加者 : 3名

◆8/25(1日目) 晴れ

新宿発あずさ1号—松本—穂高駅(乗合バス)—燕岳登山口…燕山荘(泊)
合戦尾根の急登と暑さのためゆっくり歩きとなり、遅い時間に小屋に到着。
一番奥の部屋となりましたが、非常に広々としていて逆にラッキーでした。
定員600名のところ、当日は500名が宿泊してたとの事でした。

◆8/26(2日目) 晴れ

燕山荘…燕岳往復…大天荘(泊)

今日はゆっくりペースとしました。大天荘直前もかなりきつい上り坂だったので、常に若者に先を譲りマイペース。13時半頃大天荘に着き、ザックを置き山頂へ。ちょうど雲が流れ槍ヶ岳が見えた時に撮ってもらいました。山荘の夕食のとっても美味しいトンカツにびっくりでした。天気予報を見たら28日は雨で、槍ヶ岳から新穂高温泉へ下山ルートは確保できないため、槍ヶ岳登頂を断念し、明日は蝶ヶ岳まで行くことにしました。



◆8/27 晴のち曇り

大天荘 5:40…常念岳…蝶ヶ岳ヒュッテ 16:20(泊)

この日は長い距離を歩きました。最初は気持ちの良い稜線歩きでしたが、常念岳は見上げるほどに岩礫の山、でも若い女性たちは大きなザックを背負いスイスイと歩いていく、すごいな～。きつい登り下りの連続でしたが、槍や穂高連峰の雄大なパノラマに囲まれて大満足でした。11時間の道のりは初体験でした。



◆8/28 雨

蝶ヶ岳ヒュッテ 7:40…三股駐車場 11:30→途中入浴→豊科駅 13:30 着—松本—新宿

夜中から暴風雨となりました。普段あまり使わないレインスーツで小屋を出るとすごい強風なので登頂は断念し、そのまま三俣登山口まで下山しました。登山道沿いの沢もすごい勢いで水が流れていて恐怖を感じました。

私は初めての北アルプス。とても辛かったけど帰ってくれば何故かまた行きたくなってしまう。

「千葉の山の魅力をみつけた」

2019.09.20. 岳人あびこ 深草

今年の房総ロングハイキングで東大演習林の大平道を烏帽子山に向って歩いていた時、済んだ冬の空気を通して、幾重にも重なる山並の先に朝日に輝く海が見えた。この景色の美しさに私は感動した。

数年前、北アルプスのどこかの山小屋で出会った人に千葉県には登る山は無いと言われた事があった。知床半島には羅臼岳(1661m)、下北半島の付け根には岩木山(1625m)、伊豆半島には天城山(1407m)、紀伊半島には大台ヶ原(1695m)と大峯山(1915m)、薩摩半島には開聞岳(924m)と大きな主だった半島には、深田久弥の百名山に入る山が在る。確かに、千葉房総半島は面積が広いにも関わらず高い山はない。千葉県南房総市にある房総丘陵(嶺岡山地)の一角をなす山である愛宕山が最高峰ある。この山は標高408.2mで千葉県の最高峰であるが、各都道府県の最高峰の中では最も標高が低い。千葉には登る山は無いとわけても仕方がないと思った。

処で、私は日本画家の東山魁夷の絵が好きである。中でも山の絵は大好きである。魁夷が描いた山の絵からは、山の空気や流れる滝の音、木立の匂いが伝わってくる。見ていて山の中にいる気持ちになる。私の知る限りでは、魁夷が描いた千葉の山は2点ある。昭和29年作浜金谷より望む鋸山(329m)を描いた「晩照」と出世作の昭和22年作鹿野山(379m)を描いた「残照」である。この「残照」であるが、鹿野山の山並み奥に白く八ヶ岳らしい山が描かれている。魁夷は著書の「東山魁夷画文集 風景との対話」の中で、この絵について「中央のいちばん遠くに、八ヶ岳か妙高の遠望を連想するような山峯を置きそこに、夕日の最後の残映を明るく与える事によって、漠然とした構図をひきしめる事が出来た」と書いた一節が有る。これを読んだ私は、魁夷をしても千葉の山々はそのまま描く魅力がないのだと勝手にもい込んだ。

そんな訳で、生まれも育ちも埼玉の私は、極める対象の山もなく、そのままを絵に描ける魅力もないのが千葉の山々と思っていた。その為、2017年から2019年の3回の房総ロングハイキング参加以外は、生まれてこの方、一度も千葉の山々を歩く事は無かったし歩いてみたいとも思っていなかった。そんな思いを変えたのは冒頭に書いた。今年の房総ロングハイキングでみた景色だった。千葉の山々は低山ではあるが、この山並みが幾重にも重なる姿が美しい、これが千葉の山の魅力であることを実感した。どんな山にも山それぞれに個性があり、それぞれの魅力がある。山を歩いてみて初めてその魅力が分かる。前から思っていたことだが、今年の房総ロングハイイクでその思いを強くした。

今年やっと千葉の山の魅力を見つける事ができた。来年の房総ロングハイキングは七里川温泉から亀山駅迄の山道を歩く、この新コースでどんな千葉の山の魅力と出会う事が出来るだろうか。

--以上--

2019 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。

開催場所は昨年と同様に「富津市民の森」で行い、登山技術・経験の習得についてをメイン・テーマとして進めていきます。また国際山岳看護師の講演もありますので、各会の積極的な参加を期待します。

詳細は下記を参照下さい。

記

1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会

2) 日時／場所 11月9日(土) 13時～10日(日) 12:00 終了

9日<12:00 管理棟にて受付開始>

富津市民の森 千葉県富津市豊岡 2785-1 0439-68-0929

- 3) 内容 11/9 (1)今年度の事故に関する報告 13:10～13:50
全体傾向、個別事故報告
(2)登山技術・経験の習得について 13:50～16:20
①労山アンケートの紹介
②船橋勤労者山の会「新人育成プログラム」の取り組みについて
③ディスカッション「各会の取り組みと県連に望むこと」
(3)国際山岳看護師の講演 16:30～17:30
(4)夕食／各会紹介／交流会 18:00～21:00
11/10 (1)事故事例研究 8:00～9:30
「神室山でのビバーク」(ヤマケイ 2019年2月号掲載)から得られる教訓
グループディスカッション&発表
(2)実習 9:40～11:40
地図読み、コンパスの使い方、スマホ地図 S/W の活用、ビバーク

4) 参加費 2,000円／人。交通は各会毎に。 単日での参加可<費用500円>。

5) 装備／食事

各会：飲み物、食材（炊事場・食事卓は外のキャンプ場）、ツェルト

各自：コンパス、スマホ、座布団（会議室の椅子は木製）、シュラフ一式。

6) 宿泊設備 バンガロー、コインシャワー有り。

7) 実施規模 40名程度（スタッフ含む）

8) 参加申込／締切 申込書添付にて教育遭難対策委員会 伊東：itou2385@yahoo.co.jp

090-1774-3384 10/27 締切

会場の都合上、申込多数の場合は、調整する事が有ります。

雪崩を知ることで、命を守るための講習会に参加を

船橋勤労者山の会(全国雪崩講習会講師) 石川 昌

日本勤労者山岳連盟の雪崩教育は現在、北海道、東北、北陸、関東、近畿、東海、中国地方の7地区で開催しています。中国地方の30年を最高に近畿、関東が26年、北海道が24年開催しています。各地方では、それぞれの開催内容や日程等は違いますが基本的な講習は、3のカテゴリーに分かれています。1. 雪と雪崩の基本的な知識。2. 雪崩の危険やリスク。3. 捜索に関するサーチ&レスキュー。事前の机上講習会を開催し雪崩の基本的な科学の知識を学んだ後に、各地区で実地の講習を組み立てています。地区によっては、ビーコンの講習を実技講習の前に行っている地方もあります。

毎年各地で開催される講習会を受講する会員も増加していますが、一時冬山登山者の減少に伴い講習会参加者が低調に推移した時期もありました。近年、若い登山者の増加や冬山への志向も山スキーやスノーボード、冬山ハイキング等と多様化した中で受講生も増加傾向に好転しています。今後の各地方講習会の課題は、講師陣の世代交代と講習内容の精査とテキストの整備と統一等です。さらに、新機種のビーコンや各種の取り扱いの対応にも課題があります。

全国では、各地方連盟の講師や補助講師の為に講習会を毎年2泊3日の日程で中央アルプス千畳敷ホテルにて開催していましたが、今年から行動判断の範囲が広い梅池高原スキー場に変更し行いました。今回は、サーチ&レスキューを中心に雪質観察と行動判断、サーチ&レスキューのビデオ撮り、シャベリングの検証を26名の参加者で行いました。研修生からは、疑問に感じた事を丁寧に教えて貰ったことや多くの学びがあったとの話がありました。

冬山登山を目指す会員にとっては、雪崩学習は必修ですが学習を行わず安易に冬山に入山する会員も少なくないことも現実です。さらに、ビーコンのサーチ訓練やレスキューについても学ぶことなく入山し事故に遭った例も発生しています。最も大切なことは、雪崩が発生するメカニズムを知り登山の中で判断して登山を組み立てる事です。積雪があり降雪があれば、条件が整うと雪崩が起きる事を登山者一人ひとりが認識する必要があります。那須の雪崩事故では、多くの若者がなくなりましたがこの時も「雪崩は起きない」との判断のもとに訓練が実行されました。責任者の適切な判断によりいくらでも事故を回避できる状況だと考えています。

今年も関東での雪崩講習会を開催します。冬山へ登山する会員の皆さま、是非講習会を受講して雪と雪崩の特徴を理解し、冬山登山・バックカントリー・スノーシューハイク等における雪崩のリスク管理、事故後のコンパニオンレスキューについて実践的に学習して下さい。

第27回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」は、実技講習参加者に必ず事前の机上講習の受講が必修条件となっています。千葉県からの机上講習参加者が多い場合は、

全国事務所の机上講習開催とは別に日程を設定します。下記のメールに問い合わせ下さい。
メール shoishikawa690@gmail.com

「シグナル」「テン」「スリー・ゼロ」..... 雪崩サーチ&レスキュー講習会に参加して

岳人あびこ 白崎 哲史

雪崩事故防止研究会が主催する、「雪崩サーチ&レスキュー講習会」に参加してきました。
開催場所は 2017 年 3 月 27 日に雪崩事故が発生し、大田原高校の生徒さん 8 名が亡くなったまさにその現場、那須・茶臼岳南陵に位置する休暇村那須です。

前日には大田原市で「雪崩から身を守るために」と題した講演会も開かれ、あとで聞けば、その事故で 2 時間も雪中に埋もれていたものの、その後に救出された方も実技講習に参加されていたそうです。

さて、その実技講習、雪崩トランシーバ(ビーコン)とプローブ(ゾンデ棒)、そしてシャベルを使った遭難者救助の実践スキルを学んでいったわけですが、現場で受講者に与えられる課題は少しずつハードになり、最後は雪中に埋まった遭難者に見立てた複数の雪崩トランシーバをチーム毎に捜して掘り出すというものでした。

それは、こんな具合.....。

リーダーの指示のもと、一人のサーチャーが先頭になって雪崩トランシーバを耳元にあてながら、チーム全員が急いで現場にかけつけます。

「シグナル」と大声で叫ぶサーチャー。雪崩トランシーバが遭難者の雪崩トランシーバが発する信号をキャッチしたようです。でも、まだ発信源までの距離は相当あります。サーチャーは雪崩トランシーバを胸の前に移動させ、信号の方向を確認しながら急いで距離をつめていきます。

「テン」

発信源まで 10m の距離にまで近づきました。一呼吸したあと、サーチャーは雪崩トランシーバを膝の位置まで下げ、今度はゆっくりと発信源に近づいていきます。

「スリー・ゼロ」

発信源までの距離 3m。他のメンバーは、プローブとシャベルをザックから取り出して、遭難者を掘り出す準備を始めます。

サーチャーが発信源までの距離が最も近い場所を特定し、目印となるものを置くと、プロービングの開始です。25cm 間隔でプローブを雪中に差し込み、遭難者を捜します。

「発見」

遭難者が見つかりました。他のメンバーは、シャベリングで遭難者を掘り出します(実際の現場では、遭難者の気道が確保できる状態まで)。

サーチャーはその遭難者から発信される信号とは別の信号をキャッチできるように、雪崩トランシーバのセッティングを変更します(マーキング)。

これで、別の遭難者の信号を追いかける準備が整いました。

リーダーは、全体の搜索状況を見ながら人員配置の指示を出し(一名は発見した遭難者の付き添いとする等)、搜索を再開します。そして、新たな信号を検知しなくなったら、チーム全員が雪崩トランシーバのモードをサーチから発信に戻します。



とはいえ、遭難者全員が雪崩トランシーバを携行しているとは限りません。そんなときには、救助者全員が横一列に並び、50cm 間隔でクローブを雪中に差し込んで遭難者を捜していきます(コー スプロービングもしくはスラロームプロービング)。時間との勝負になりますから、1 回目にプローブを刺す深さは 1.5m までです。

講習会では、こうした搜索が確実に行われることで、遭難者が救助されることを身をもって体験しました。雪崩トランシーバの取扱いにおいても、信号キャッチ後の雪崩トランシーバの表示は、思った以上にコロコロと変わります。示す方向も一様ではなく、ときには反対方向を指し示すことも。それでも、何回かトライしていくうちに、コツのようなものが掴めました。

雪崩は、日中だけでなく、テント泊や雪洞泊しているときにも起こります。リスクを認識し、もしの場合に仲間を救助できるようにしておくことも、雪山登山の大切なスキルであることを実感した次第です。

それともう一点、実技講習が始まる前に聞いた、興味深い話を紹介させていただきます。それは、雪崩事故での死亡原因で最も多いとされる「窒息死」の本当の理由です。雪に埋もれたら窒息死するのは当たり前のように思えますが、実際には雪は多くの空気を含んでいます。なので、呼吸ができるように口の周囲にうまくエアポケットを確保することが求められます(腕を曲げて顔の前に空間をつくるなど)。

事実、雪崩救助ではまず最初のタイムリミットが 18 分だとされますが、それは、雪崩に埋もれても外傷がなければ 18 分程度は生存できていることがわかっているからです。

では、15 分生きられるのに、どうして 20 分生きられないことがあるのか。

その理由は、私たちが吐く息は熱を持っているため、空洞の周囲の雪が溶けて水滴になり、その水滴が周囲の冷気で冷やされて今度は氷になるからだそうです。氷は空気を通しません。つまり、空気を通さない氷の壁が口の周囲で形成されていくということ。これが、窒息死に至るメカニズムだとのことでした。

なお、主催した雪崩事故防止研究会は、北海道を拠点に活動するこの分野の専門家集団です(大学の研究者や医師もメンバー)。理論と実践の両面から雪崩事故を防ぐための啓発活動を続けており、その実績が地元で評価されて、今回の講習会開催となったのでした。

今季の関東での講習会の開催はこれが最後のようなのですが、北海道では毎年泊まりの講習会を開催しているとのこと。興味のある方は、来季の参加をお勧めします。

この報告は、2019年4月6日に、ちばニュースに投稿されました。内容が「雪崩講習会」の参加報告でしたので、2020年の関東雪崩講習会の日程に合わせての掲載が有効であると判断し今月号に掲載しました。しかし、冬山シーズン前に「関東雪崩講習会」の日程を考慮したとは言え会員からの投稿に対し、配慮が無かった事を反省しています。

岳人あびこの皆様、投稿者の白崎様にお詫び申し上げます。

千葉県連会長 広木 国昭

第27回 関東ブロック

「雪崩事故を防ぐための講習会」ご案内（案）

主催 日本勤労者山岳連盟 関東ブロック協議会

※ 実技講習参加者は、必ず事前の机上講習の受講が必須条件です。



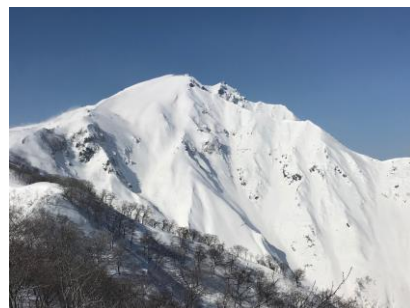
実施要項 実技

- ◆ 日 時 2020年1月18日（土）9時 ～ 1月19日（日）14時
- ◆ 場 所 谷川岳天神平及び白毛門登山口・土合山の家周辺
- ◆ 宿 泊 土合山の家 JR 上越線土合駅
徒歩5分 Tel. 0278-72-5522
- ◆ 集 合 1月18日（土）9時 土合山の家
- ◆ 定 員 基本①クラス（初めての参加）20名
（登山・山スキー・ボード）
基本②クラス（2回目～経験者）10名
（登山・山スキー・ボード）
- ◆ 受講費 実技講習 23,000円
学割 20,000円
（1泊2食宿泊料・机上講習料・資料代・ロープウェイ料金等を含む）
- ◆ 装 備 冬山装備一式、雪崩講習に必要な用具
- ◆ 締め切り：2019年12月31日
- ◆ 問合せ先・申し込み

東京都勤労者山岳連盟

担当 川嶋

Tel 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324 Eメール jwaf@jwaf.jp



受講費振込先

郵便貯金口座「ぱるる」口座名 カワシマ タカシ 記号 10310 番号 90565701

※受講申込みと同時に、受講費を払い込んでください、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

尚、キャンセルは1月13日迄とし、その後は実費を頂きます。

実技参加者は受講申込に際し、以下の事柄についてお知らせください。メール／FAXにて

- 1 氏名・生年月日・性別
用紙はHPに <http://twaf.jp/>
- 2 住所および電話番号（メール通信が可能な方は、メールアドレスも）
- 3 所属山岳会があれば会名、なければ所属なし。
- 4 新特別基金加入口数または、その他の山岳保険加入内容（保険は必ず加入のこと）
- 5 積雪期登山の経験年数又は積雪期に登った山。過去講習会参加の有無
- 6 緊急時の連絡先
- 7 希望講習クラス（例：一般基本①、山スキー基本①など）
※基本クラス②、山スキー基本②は原則として基本①修了者が対象となります。



❖ 雪崩 机上講習会開催のご案内

開催日・時間 （2019 年）

Aコース 12 月 1 日(日) 13:00～17:00

Bコース 12 月 4 日(水)／11 日(水) 19:00～21:00

各定員40名 講習料¥2,000 円（テキスト・講習代）

※日曜日の午後半日 A コースまたは平日の夜間

2 回 B コースのどちらかを選択して下さい。

※実技講習参加の方は机上講習料を含んでいます
ので無料です。

机上講習会だけの参加も受け付けていますので
多くの参加を願います。

会場

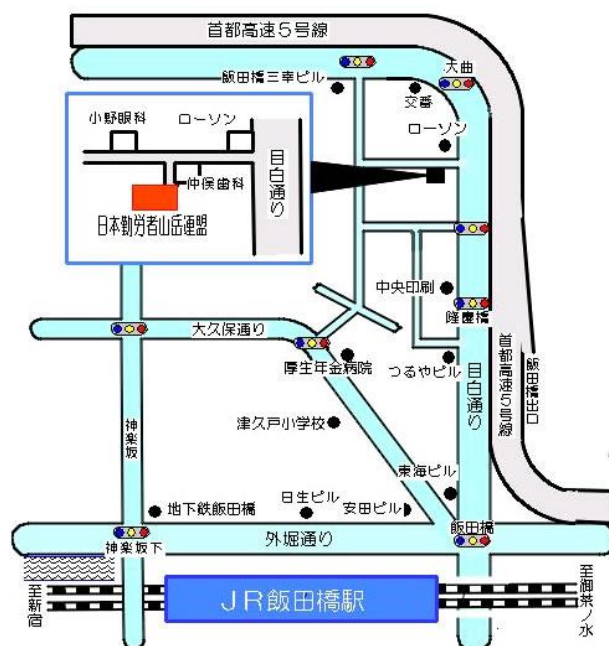
全国連盟 事務所 1 階

所在地

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

JR・地下鉄 飯田橋駅 下車 徒歩10分

飯田橋駅から目白通りを江戸川橋方面へ歩いて大曲
バス停前のコンビニ（ローソン）の角を曲がり約50m 歯科
医院の角に入る



Tel/Fax 03-3260-6331 Mail: jwaf@jwaf.jp

2019 年度 第 3 回ハイキング委員会

2019 年 9 月 10 日 (火)

出席者 桑原、金井、深草、八巻、伊藤、寺崎、磯部、 7 名

議題

1) 第 36 回 房総ロングハイキング

2020 年 1 月 25 日 (土)、26 日 (日) 募集する。七里川温泉 泊

26 日 新コース (七里川) 温泉—石尊山—岩場下—岩場 (トラロープあり)—三角点 (235 m)—林道・大福線—産廃処理場—坂畑線より山道入り口 (記念道標)—林道—山道—川越藩・横尾番所跡 (竹藪の中)—最後の林道—手彫りトンネル 2 か所—亀山コミュニティーセンター—車道トンネル—亀山駅駐車場 歩行時間 約 6 時間 30 分・休憩含む

(温泉 7:00 出発—亀山駅 13:30~14:00 着) 一応このコースに決定しました。

再度下見 10 月 24 日 (木) (集合時間等決定次第お知らせします。)

東葛地区 (浪花から御宿コース) 決定

浪花駅～歴史の道～太平洋～御宿駅までのコース

25 日 浪花駅—八幡神社 9:30—岩船地藏尊—ドン・ロドリコ上陸地—大浪月—メキシコ記念館—岸和田海岸—月の砂漠記念館—月の砂漠—歴史民俗資料館駐車場 14:30 着予定

(このコースは東葛地区に限らず参加自由です)

下見 寺崎さんをお願いして最終コースタイムを決定する。

2) ウィークデー山行

玉原 (たんばら) 高原 湿原散策～尼ヶ禿山 に決定。

日時 2020 年 6 月 11 日 (木) バス利用

コース センターハウス駐車場 10:30 出発—玉原湿原—朝日の森ロッジ登山口—鉄塔—尼ヶ禿山山頂—鉄塔—トンネル手前登山口—ブナ平—駐車場 14:30 着予定

乗車=「望郷の湯」15:30/16:30=各地 (最終コースタイムその他は次回報告します。)

3) ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル (山への想い) 雑感

9 月羽鳥、10 月深草、11 月金井、12 月伊藤、1 月田中、2 月松宮、3 月寺崎、4 月磯部、5 月八巻、6 月桑原

※ 前月の 20 日までに「ちばニュース」広木様、石戸様、種蔵様、メールまでお願いします。

その他 (メールアドレス ちばニュース参照)

※ 時期委員長 選出の件 指名したら喜んで引き受けてください。

※ 全国ハイキング学校 府中コンチネンタルH 9 月 28、29 日

参加の方はしっかり勉強してきてください。

次回委員会 2019 年 11 月 12 日 (火) 18:00～ 県連事務所

第13回ワンコイン講習会 報告

千葉県連女性委員会

第13回ワンコイン講習会を実施しました。

今回は、石田良恵先生をお迎えして「山筋ゴーゴー体操」を学びました。

実施日が、夏休み明けで参加者が少ないのではとの不安もありました。

当日は、地元市川山の会を始め47名の参加がありました。山行を中止して馳せ参じてくれた方もいました。先生は、千葉県連の男性は、とても熱心でやりがいがあると仰っていました。これは、顔をしかめて頑張っていた男性へのやさしいメッセージでしょう。次回も大勢の男性の参加をお願いします。

- ・ 実施日 2019年9月7日（土）13時より
- ・ 会場 船橋市西部公民館 2F 集会場
- ・ 参加者数 47名（10会）

「山筋ゴーゴー体操」は、一見簡単な動作の体操です。しかし、その動作の一つひとつをしっかりと実施すると結構きつい動作の連続する体操です。

一生山登りを続けるために実施する筋トレです。簡単には行かないのです。石田先生が良く言っている事です、「継続して実施する事が大事」これが中々出来ないのが現状です。改めて時間をとって実施する、家事をしながら、と山行を続けるために頑張ってください。



石田先生の 最新版です。

一生、山に登るための体づくりのために、労山の仲間と創り上げた「山筋ゴーゴー体操」のガイドブックです。

ぜひ、身近において実行して下さい。

・ 送料込：1100円

・ 問い合わせは、県連・広木まで
danphro@zpost.plala.or.jp

第14回ワンコイン講習会

主催 千葉県連盟女性委員会

テーマ

「安心安全登山のための

エネルギーと水分補給法」

今回も
オレにまかせろ！



講師 安村 淳 先生

16歳で登山をはじめ、シシャパンマ、チョー・オユー・エヴェレスト等に登頂、高所登山ガイドとして活動。

「マウンティンゴリラ登山学校」を主宰し、安全登山・自立した登山・生涯登山をテーマに活躍中。千葉県連では、昨年に続いて5回目の講演会です。

実施日 2019年11月17日（日）13時～16時

場 所 船橋市西部公民館2階（JR下総中山駅より徒歩10分）

参加費 ワンコイン（500円）（労山会員外も同額です）

女性委員会では、山仲間と、いつまでも楽しい登山やハイキングを続けるために、いつでもどこでも出来るトレーニング・正しいメンテナンス等を学んでいます。

安村先生は、鍼灸師・マッサージ師でもあります。膝痛・腰痛に悩んでいる方に、「指圧のツボ」を、特別伝授します。

- ・ 問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ・事務局への問い合わせ
- ・ 労山会員外の参加を歓迎します。友人・山仲間を誘って下さい。

千葉県連予定表

10月		
日付	曜日	会議・イベント
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	基金担当者会議(全国事務所)
5	土	
6	日	
7	月	役員会 19:00~@県連事務所
8	火	
9	水	
10	木	自然保護委員会 19:00~@県連事務所
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	体育の日
15	火	
16	水	
17	木	県連理事会 19:00~@船橋西部公民館
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	全国女性交流会@和歌山
27	日	
28	月	教育遭難対策委員会 19:00~@県連事務所
29	火	
30	水	
31	木	

11月		
日付	曜日	会議・イベント
1	金	
2	土	
3	日	文化の日
4	月	
5	火	役員会 19:00~@県連事務所
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	事故防止・経験交流会@富津市民の森
10	日	
11	月	役員会 19:00~@県連事務所
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	全国自然保護担当者会議(全国事務所9)
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	県連理事会 19:00~@船橋西部公民館
22	金	
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	教育遭難対策委員会 19:00~@県連事務所
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

事故発生時の連絡先

①教育遭難対策委員会へ連絡する事

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

ファクス： 043-271-4704 (岡田)

②全国連盟事務局にも連絡する事

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-0481509

千葉県勤労者山岳連盟

編集後記

・8月号、9月号は夏山特集として会山行、個人山行の報告をお願いし各会から9通の投稿がありました。
・他会の山行報告から、コース情報を安全登山の参考にして下さい。
・各会の山行報告は引き続き掲載したいと思います。秋山報告の投稿をお願いします。日帰りハイキング等投稿をお待ちしています。
出来れば、表紙用の写真1・2枚も付けて送って下さい。

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>